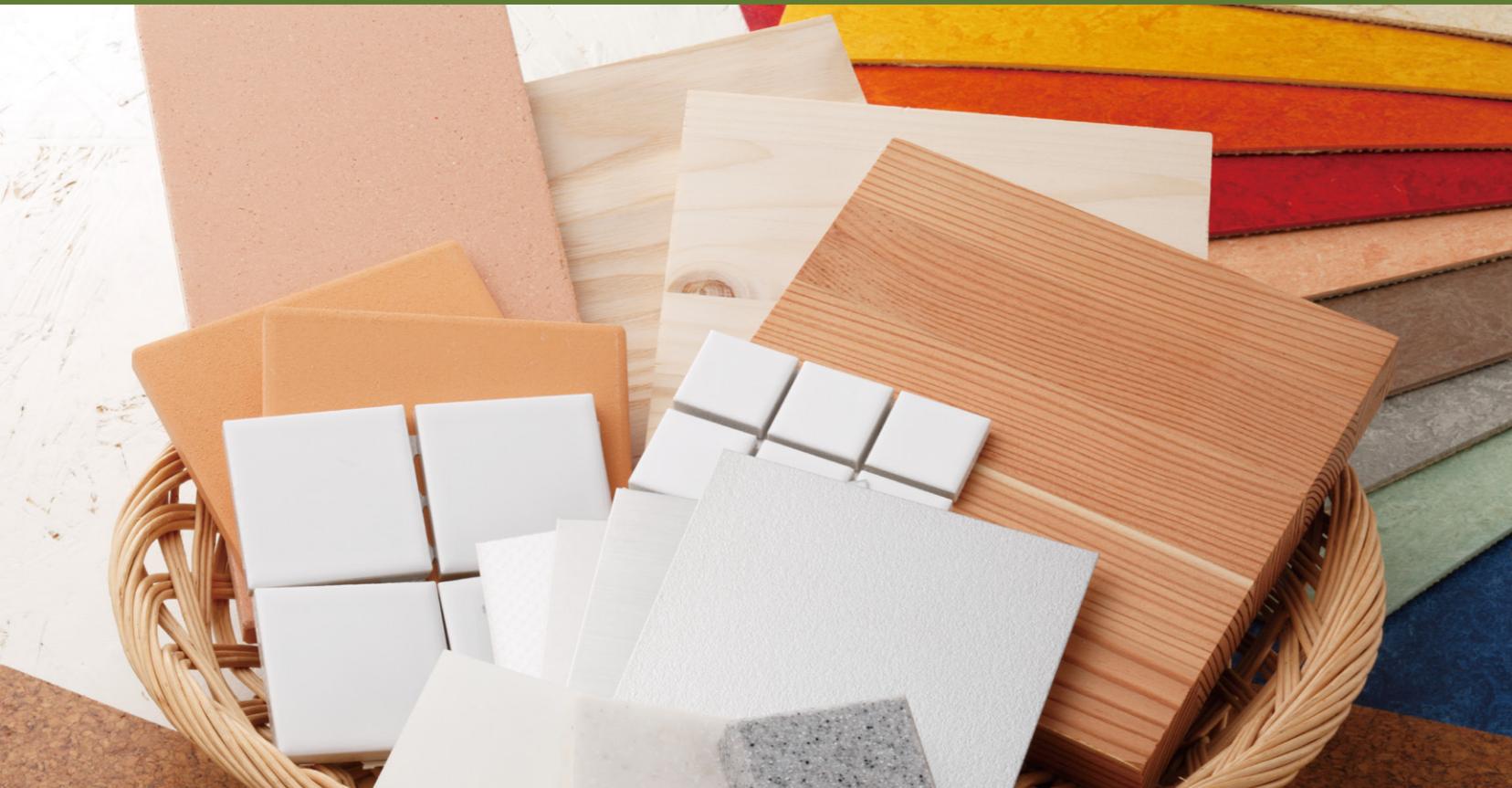


やさしい自然派住宅のつくりかた

# そざい の 一と S o z a i N o t e

おいしい料理をつくるためのレシピがあるように、  
心地よい家をつくるためのレシピだつてある。  
人にも環境にもやさしい自然派住宅をつくるための、  
エコ空間デザイナー御用達、天然素材の使い方教えます。



vol.  
05

## 北海道の木と自然素材で つくる自然派キッチン

「キッチンは、清潔で掃除しやすいことが一番だ」と思っている人は、自然素材を使うということに不安を感じるかもしれない。しかし、化学建材や、システムキッチン・収納家具に使われる化粧合板パネルは、人の健康と環境に負荷をかける心配がある。長い時間を過ごし、家族の「食」を担う大切な空間が、汚染された建材でつくられて良いとは思えない。環境と健康にリスクの少ない、安心安全な自然素材を活かしてつくる「自然派キッチン」をお勧めしたい。北海道産の無垢の木で仕立てた手づくりの木製キッチンと、自然素材の空間で気持ちの良い暮らしを手に入れる。代表的な道産木材でつくる、ナチュラルスタイルのキッチンをご紹介しよう。

### ◎今回の素材 & テーマ

### ナチュラルなキッチンを 演出する素材



道産木材の幅剥ぎ板  
(カラマツ・トドマツ・タモ)



キッチン廻りを演出する  
タイルいろいろ



天板材のステンレスと  
人工大理石



自然素材の仕上げ材と塗料



### トドマツ仕立てのキッチン

素 材 北海道産トドマツ+タイルTOP

針葉樹のトドマツは、北海道で最もポピュラーな建築木材。やや軽軟で肌目は直通だが薄くぼやける。全体に淡い黄白色で、明るい肌が特徴。節目を活かした幅剥ぎ板を使い、合板は使用せず天然オイルの自然塗料で仕上げる。クリアー仕上げで経年変化を楽しむか、最初からパイン色で染めて製作するのも良い。タイル仕上げのワークテーブルTOPは、タイルのサイズや色、そして目地の色でも雰囲気が変わる。目地の汚れが気になる人もいるが、お掃除好きにはうってつけの素材と言える。

### カラマツ仕立てのキッチン

素 材 北海道産カラマツ+ステンレスTOP

針葉樹のカラマツは、建材として最近需要が増えている木材。やや重硬で肌目は粗いが木目がくつきりし、赤身を帯びた褐色肌が特徴。節目を活かした幅剥ぎ板を使い、合板は使用せず、天然オイルの自然塗料で仕上げる。カラマツは、月日がたつと赤身が増し、チークのような色合いに変化する。クリアー仕上げで経年変化を楽しむか、最初からチーク色で染めて製作するのも良い。ステンレス製のワークテーブルTOPは、サイズも自由で、仕上げもキズの目立たないヘアーライン仕上げや、エンボス仕上げなどから選ぶことができる。



### タモ仕立てのキッチン

素 材 北海道産タモ+コーリアンTOP

広葉樹のタモは、家具・造作材として用いられる木材。重硬で弾力性に富むため、野球用のバットにも使用される。肌目はやや粗く、木材の中心に向かって淡い黄白色から淡い灰褐色になる。節のない板目・柾目混合の幅剥ぎ板を使い、合板は使用せず天然オイルの自然塗料で仕上げる。クリアー仕上げで経年変化を楽しむか、オーク色、ウォルナット色などの濃い着色仕上げで、重厚感をもたせても塗料の馴染みが良いのでお勧め。コーリアン(アクリル系人工大理石)のワークテーブルTOPは、自然の風合いが特徴。キズや汚れが付きやすいのが欠点だが、補修することができる。



#### 1 作業台

ちょっとこだわって、オリジナルのシンプルなナチュラル・キッチン=無駄を省いた機能的な木のキッチンが理想だ。天板は、ステンレスやタイル仕上げにして、キッチン本体には北海道産の無垢の木をチョイス。トドマツ・カラマツの針葉樹や、ミズナラ・タモなどの丈夫な広葉樹、木の色合いや節の有無など、好みに合わせて選ぶ。仕上げはもちろん天然オイルの自然塗料で仕上げ、耐水性の高いカルナバヤシのオイルワックスで日々のお手入れをすると良い。

#### 2 床

無垢の木のフローリングは、キッチンと同じオイルワックスで、手軽にお手入れができる。塩化ビニールのクッションフローやPタイルを使ってはいけない。ナチュラルな仕上げ材のお勧めは、柔らかなクッション性があって、抗菌性と防水性を兼ね備えたコルクタイル。また天然リノリュームは、天然樹脂の長尺シートでつなぎ目が少なく、お掃除が気になる人にGOOD。どちらも施工の際には、天然ラテックス接着剤で施工するのがナチュラル派。メンテナンスは、フローリング同様オイルワックスでお手入れをすると良い。

#### 3 壁

塩化ビニールの壁紙を使わない。漆喰系の塗り壁は、調湿性や抗菌性がありお勧め。石膏ボード下地の上に簡単に塗ることのできる石灰クリームや、ホタルテの漆喰などが、手軽でローコスト。自分で塗ると、ビニールクロスを貼つてもらうのとほぼ同額位で済む。また珪藻土タイルは、最近流行している塗り壁材の原料である珪藻土を高温で焼き、セラミックにしたタイル。専用の接着剤で、簡単に誰にでも手軽に貼ることができる。湿気を吸つたり吐いたりする呼吸性が抜群で、ちょっとした油汚れは吸収して目立たなくなってしまう優れものもある。

### 西條 正幸 Profile

人の健康と環境にやさしい空間づくりを目指し、  
北海道の無垢の木と自然素材にこだわった建築デザイン事務所  
(有)ビオプラス西條デザイン代表取締役。  
2010年4月から1年間、北海道新聞朝刊に『農を楽しむ』西條さんの菜園便り』を連載。  
2011年、エコスタイルで暮らす「やさしい自然派住宅」を北海道新聞社から出版。



有限会社ビオプラス西條デザイン  
本社:〒002-8081  
札幌市北区百合が原4丁目8-1  
TEL.011-774-8599  
www.saijo-d.com